

第五商業高校 令和3年度 簿記 年間授業計画  
 教科:(商業)科目:(簿記) 単位数:5単位 対象:(第1学年 A組～ F組)

使用教科書		簿記 東京法令出版		
使用教材		実教出版 日商簿記検定問題集3級		
指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数	
4月	企業の簿記 簿記の意味 簿記の目的 簿記の必要性	企業における経営活動の進め方を学習させ、その中で簿記の役割と重要性を認識させる。 簿記の目的と重要性を理解させ、学習の心構えを養う。 簿記の種類を分類別に示し、学習するのは商業簿記を中心とした複式簿記であることを認識させる。	問題集・プリント	1
	資産・負債・純資産 資産 負債 純資産	簿記の基本要素のうち、資産・負債・純資産の概念を理解させる。 資産・負債・純資産の相互の関係を学習し、理解させる。	問題集・プリント	2
	資産・負債・純資産 貸借対照表 当期純損益の計算	貸借対照表の形式と作成方法、その意味を理解させ、作表に習熟させる。 財産法による純損益計算の仕組みを理解させる。	問題集・プリント	4
	収益・費用 当期純損益の計算 損益計算書	簿記の基本要素のうち、収益と費用の基本概念を理解させる。 収益、費用と財産の増減との関係を学習させ、損益計算書等式を理解させる。 損益計算書の形式と作成方式、その意味を理解させ、作表に習熟させる。 損益法による純損益計算の仕組みを理解させる。	単元別テスト	2
5月	取引と勘定 取引の意味 勘定の意味 勘定科目・勘定口座	簿記上の取引の意味を明らかにする。 勘定・勘定科目・勘定口座の意味と、その必要性を理解させる。	問題集・プリント	1
	取引と勘定 勘定への記入法 取引要素の結合 貸借平均の原理	資産・負債・純資産・収益・費用の書く勘定への記入法を習熟させる。 取引要素を明らかにし、その結合関係を理解させる。 貸借平均の原理の意味と、複式簿記の特徴を理解させる。	問題集・プリント	2
	仕訳と勘定への記入 仕訳 転記	仕訳の意味と役割・必要性を理解させ、その方法を習熟させる。 勘定口座への転記について正しく理解させる。	問題集・プリント	4
	仕訳帳と総勘定元帳 仕訳帳 総勘定元帳	仕訳帳の役割について理解させ、その記入方法を習熟させる。 総勘定元帳の役割について理解させ、その記入方法を習熟させる。	単元別テスト	4
	試算表 試算表の意味 試算表の種類と 作成方法	試算表の意味と役割を理解させる。 試算表の種類とその作成方法を理解させ、習熟させる。 試算表によって誤りを発見する方法について理解させる。	問題集・プリント	2
	中間考査	4月・5月の授業内容を理解する。	中間考査	1
	現金・預金の記帳 現金、現金出納帳 現金過不足 小口現金	簿記上、現金として取り扱われるものにはどんなものがあるかを理解させる。 現金に関する取引の内容について、さらには、それを記帳する現金出納帳の役割を理解させ、記帳方法を習得させる。 現金過不足の意味を理解させ、その記帳方法を習得させる。 小口現金の意味、定額資金前渡法のしくみを理解させ、小口現金出納帳の記入法を習得させる。	問題集・プリント	5
6月	現金・預金の記帳 当座預金、その他 当座借越 当座預金出納帳	当座預金の役割、小切手のしくみ、当座預金に関する取引の内容について理解させ、その記帳方法を習得させる。 当座借越・当座の意味を理解させ、その記帳方法を習得させる。 当座預金出納帳の役割を理解させ、その記入方法を習得させる。	問題集・プリント	3
	商品売買の記帳 分記法・三分法 仕入帳・売上帳 商品有高帳	商品勘定の分割の意義を理解させ、その記帳法を習得させる。 商品の仕入れにともなう仕入諸掛りや販売時の発送費の取り扱い、値引きや返品処理方法を習得させる。 仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割を理解させ、その記帳方法を習得させる。	問題集・プリント	4
	掛取引の記帳 売掛金・売掛金元帳 買掛金・買掛金元帳	掛取引における総勘定元帳と補助元帳の関係を理解させる。 売掛金元帳・買掛金元帳などの補助元帳の記入方法を習得させる。	問題集・プリント	1
	手形取引の記帳 手形の裏書・割引・ 手形記入帳	手形の種類を理解させる。 債権・債務の関係や決済・裏書・割引の内容と、その記帳方法を理解させる。 手形記入帳の形式とその記入方法を理解させる。	問題集・プリント	2
	その他の債権・債務 前払金・前受金 未収金・未払金 貸付金・借入金等	売掛金・買掛金、受取手形・支払手形以外の債権・債務の諸勘定の特徴と、その記帳処理の方法を理解させる。 ～前払金・前受金、未収金・未払金、貸付金・借入金についての記帳方法を理解させる。	問題集・プリント	2
	その他の債権・債務 手形貸付金 手形借入金 立替金・預り金等	売掛金・買掛金、受取手形・支払手形以外の債権・債務の諸勘定の特徴と、その記帳処理の方法を理解させる。 ～手形貸付金・手形借入金、立替金・預り金、商品券についての記帳方法を理解させる。	問題集・プリント	2
	有価証券の記帳 有価証券 有価証券の買入 有価証券の売却	有価証券の売買取引について、簿記上、有価証券として取り扱われるものの内容について理解させる。 有価証券の売買取引における記帳の方法を理解させる。	問題集・プリント	1
	固定資産の記帳 固定資産 固定資産の取得 固定資産の売却	固定資産の意味と種類について理解させる。 固定資産の取得時・売却時の記帳方法を理解させる。	問題集・プリント	2

第五商業高校 令和3年度 簿記 年間授業計画  
 教科:(商業)科目:(簿記) 単位数:5単位 対象:(第1学年 A組～ F組)

使用教科書	簿記 東京法令出版		
使用教材	実教出版 日商簿記検定問題集3級		
指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
その他の債権・債務 手形貸付金 手形借入金 立替金・預り金等	売掛金・買掛金、受取手形・支払手形以外の債権・債務の諸勘定の特徴と、その記帳処理の方法を理解させる。 ～手形貸付金・手形借入金、立替金・預り金、仮払金・借入金、商品券についての記帳方法を理解させる。	問題集・プリント	2
クレジット売掛金	クレジット売掛金について理解させる。	問題集・プリント	1
固定資産の記帳 固定資産 固定資産の取得 固定資産の売却	固定資産の意味と種類について理解させる。 固定資産の取得時・売却時の記帳方法を理解させる。	問題集・プリント	2
<b>勉強の仕方 のポイント</b>	簿記は積み重ねの学習です。少なくとも、授業のあった日には必ず復習をすることが大切です。 途中、間を飛ばして、理解することは不可能です。基本を大切に、確実に一歩ずつ階段を上るように進んでいくことです。 宿題や提出物は必ず期限を守って提出しましょう。		
7月 個人企業の純資産 追加元入・引出 個人企業の税金 個人企業の税金	個人企業における資本金勘定の性質と、資本金勘定の増加・減少の場合を理解し処理することができる。 個人企業に課される税金の種類と、どのような事に課される税金であるのかを理解させる。 税金(所得税・住民税・事業税・固定資産税・印紙税)の記帳処理の方法を理解させる。	問題集・プリント	1
9月 決算 決算の意味 決算本手続き	決算の意味とその手続きを理解させる。 総勘定元帳と仕訳帳の締め切りの手順を理解させ、決算報告書類(貸借対照表と損益計算書)の作成方法を習得させる。	問題集・プリント	3
決算整理(その1) 決算整理の意味	決算整理の意味を把握させ、決算整理事項について理解させる。 決算整理事項のうち、現金・商品8売上原価の算定)・貸し倒れの見積もり、減価償却、引出金の整理について基本的な処理方法を理解させる。	問題集・プリント	2
決算整理(その1) 決算整理の意味 商品の決算整理 貸倒、減価償却等	決算整理の意味を把握させ、決算整理事項について理解させる。 決算整理事項のうち、現金・商品8売上原価の算定)・貸し倒れの見積もり、減価償却、引出金の整理について基本的な処理方法を理解させる。	問題集・プリント	4
10月 決算整理 8けた精算表 帳簿の締め切り 財務諸表	8けた精算表の意味を理解させ、その作成方法を習得させる。 帳簿決算の方法を理解させ、その習熟に努めさせる。 損益計算書と貸借対照表の意味を理解させ、その作成方法を習得させる。	問題集・プリント	3
帳簿 帳簿の種類 分課制度・帳簿組織 帳簿の形式	複式簿記の帳簿の種類を体系づけて理解させる。 帳簿組織を業務の分担と関連づけて考えさせる。 帳簿の体裁および帳簿に関する法規を学習させる。	問題集・プリント	4
3伝票による記帳 証ひょう 伝票 3伝票制	伝票の種類と記帳方法を理解させる。 3伝票制による起票を習得させる。	問題集・プリント	3
中間考査	9月からの授業内容を整理し、理解する。	中間考査	1
日商簿記実務検定対策 決算問題	各種問題に取り組み、決算整理事項の関係性の理解を深める。	問題集・プリント	5
11月 日商簿記実務検定対策 決算問題	各種問題に取り組み、決算整理事項の関係性の理解を深める。	単元別テスト	5
日商簿記実務検定対策 総合問題	各種問題に取り組み、理解を深める。	取り組みと理解度	10
12月 期末考査対策 期末考査	試験範囲の復習をし、理解を深める。	期末考査	1
日商簿記実務検定対策 総合問題	各種問題に取り組み、理解を深める。	取り組みと理解度	3
1月 全商簿記実務検定対策 決算問題 計算・適語選択	決算整理の意味を把握させ、決算整理事項について理解させる。 決算整理事項のうち、現金・商品売上原価の算定)・貸し倒れの見積もり、減価償却、引出金の整理について基本的な処理方法を理解させる。	単元別テスト	1
全商簿記実務検定対策 決算問題 仕訳問題	決算整理の意味を把握させ、決算整理事項について理解させる。 決算整理仕訳を通して、精算表・貸借対照表・損益計算書の記入が正確にできる。 仕訳問題を繰り返し練習させ、不正確な部分をなくす。	単元別テスト	3
全商簿記実務検定対策 総合問題練習	全商簿記実務検定模擬問題集を通して、弱点の克服を目指す。	模擬テスト	4
2月 日商簿記実務検定対策 総合問題	各種問題に取り組み、理解を深める。	取り組みと理解度	10
3月 学年末考査対策	年間の復習をし、理解が定着しているか確認する。	問題集の提出 模擬テスト	2
学年末考査	1年間の学習内容の理解を確実なものとする。	定期テスト	1